

第12回チーム“SUNAGAWA”団結セミナー&ワークショップ 振り返り

と き：令和2年2月17日（月）16:00～18:30 ところ：地域交流センターゆう

今回で14度目の砂川となる（一社）地球 MD 代表理事 山本 聖 氏
セミナー&ワークショップは37名と、今回も多くの方々に出席いただきました。



1. セミナー 高齢社会における人材活躍支援 ～参加型人材づくりと多様性ある組織づくり～

（株）バトン 林 義仁さんの紹介 大学卒業後、大手人材サービス会社と業務請負契約を結ぶ。その後、宅配フードベンチャーを立ち上げ、一部上場企業の人材サービスへ転職。2008年に（株）バトンを設立。外食・介護・保育・医療法人の採用や育成の代行、人材交流ツアー、人材マッチングイベント、及び地域活性化事業を手がけ、福島県大熊町のアドバイザーとして「福祉の里構想」に携わるなど多方面で活躍。

ヴァンテージ・ソサエティ・・・「高齢者はリタイヤするもの」という常識を変えていきたい

・ヴァンテージ (Vintage)「価値ある古いもの」＋ソサエティ (Society)「社会」

＝人生100年時代において「高齢者が多世代に緩やかに交わりながら、『社会の負担』ではなく、『社会の力』となれる社会」。人間が持っている能力の中で「キャリア」や「スキル」と認識しているものは、その一部に過ぎない。例えば「聞き上手」というものも貴重な能力の一つ。高齢者が、車椅子でも、認知症であっても、施設に入所した後でも、最後まで「**役割**」を持ち、社会活動に参加する社会。



(社福)伸こう福祉会 (神奈川県藤沢市) 仕事付き高齢者住宅の事例

きっかけはご高齢者の声。

年金のほかに
収入があれば・・・

まだ出来ることもあったし、
仕事も続けたかったけど・・・

- ・高齢者自らがあきらめている場合が多く、部屋に閉じこもりがち
- ・支援が必要な高齢者が増え、施設の人員が増えてきている。



- ・健康的で自分らしく「生涯現役」で過ごすことができるかも？
- ・施設職員のサポートで「活動」ではなく「仕事」ができるかも？

要介護でも、活躍できる場所や社会貢献できる機会を求めているのではないか？

高齢者が「仕事」を担える仕組みがあれば、精神状態や健康状態を維持できるのではないか？

「支えられる側 (要介護者)」と「支える側 (介護者)」の境界線を曖昧にしていきたい

- 高齢者自身の「意識」を変える → 企業の持つ「技術」を用いて、「できる」を増やす
- 高齢者家族の「思い込み」を変える → 怪我等の「リスクに対する考え方」を変える

○ 事業概要 高齢者が「仕事」を通じて健康を維持する仕組みを構築

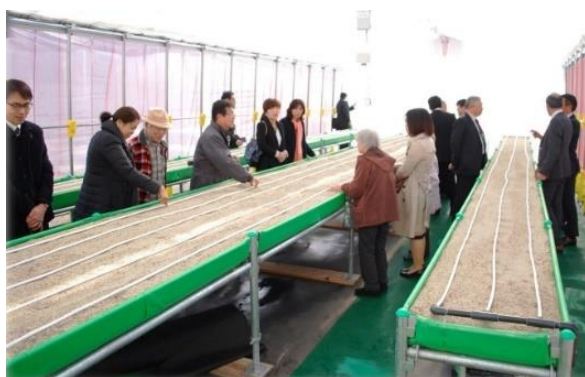
○ 連携機関 カゴメ・イオン・医療機関・建設会社・大学・神奈川県ほか

○ 就職説明会 クロスハート湘南台 (神奈川県藤沢市の有料老人ホーム) の入所者対象に 実施

・履歴書を提出した入所者15人 (平均年齢88歳、全員の介護度は要支援1～要介護3) を全員採用

○ 仕事内容

- ・高床式砂栽培を活用した農作業で、栽培と販売を行う。
- ・ビニールハウスの作業場が高さ80cmあるため座りながら行うことができる。
- ・ビニールハウスで行う作業と室内で行う作業も車椅子で可能であり選択することができる。



○ 成 果

- 入所者は非活動時の**約3倍の歩行運動**を行っていた。
 - ① ビニールハウス内の作業に加え、外出や事務所に訪問する頻度の増加が要因
 - ② 「歩行」が目的ではなく「仕事」が目的であるため、無理して歩いたという感想ではなく、自然と普段以上の運動となった。
- 入所者が作業の謝礼（1回の作業で500円）で、**消費意欲の向上**が見られた。
- 定年後の**シルバースタッフ**として活躍の場の拡大
- 高齢者の**自立促進**と介護重度化の予防による**重介護減少**
- 効果実証のある**機能訓練メニューの充実**
- 施設職員が業務（ケア）に専念できる環境構築と**人材定着**
- 入所者の生活満足度と活動量の増加、コミュニケーションの変化、メンタル面での安定が見られた。



イオン藤沢店で実施

2018年
2月24日 / 3月3日

参加者様の販売促進で
計190袋 完売致しました。

株式会社バトン オンラインUIターン就労システムの事例

- 【思っていた疑問】「働きたくても、働けない人」＝「今の社会が求める勤務条件に当てはまらない人」？
 → 【新たな思い】「この人はもっと活躍できるのに！」「一緒に働ける方法を、一緒に考えてみよう！」
 → 【現在の確信】新たな「**働ける環境**」を作り出すことによって、新たな「**働ける人**」が生まれる。
 現在の㈱バトンで働いているメンバー … 8割以上が時間に制限があり、子ども等の突発的な体調不良によるお休みにも対応できるよう、「**チーム**」で**働く仕組み**を活用している。

働きたくても働けない人	働けない理由	バトン入職後の働き方		
		1日の勤務時間	場所	体制
子育て中のお母さん	・子どもが小さい、または待機児童。 ・子どもが体調不良となった際に 欠勤 しなければいけない。	子どものお昼休み中や就寝後の1～2時間	在宅または出勤の選択制	急な欠勤でもフォローし合えるチーム体制
障害児を育てるお母さん	・子どもを 短時間 しか預けられない。 ・子どもが体調不良になった際に欠勤しなければいけない。	デイサービスに預けている1～2時間		
疾病のある方	・外気に触れると悪化するアトピーのため、 外出できない 。 ・季節の変わり目は 体調不良 になりやすい。	体調が良い 13時以降の5時間		
ニート	・ 働く一歩 が踏み出せない。 ・ 自分のペース で働きたい。	単発や短期で3～8時間		
兼業ワーカー（音楽家、草職人、個人事業等）	・本業の繁忙期や閑散期によって、 働ける時間が違う 。			

【人手不足を在宅アウトソーシングで解決】

山形県鶴岡市の旅館の課題
人手不足が深刻化
アナログ運営 が蔓延化
・スタッフ個人のスキルに依存
・新人教育に時間がかかる



㈱バトンが月平均 600 件の旅館予約受付業務を受託、上記の「働きたくても働けない人」をチーム化してシフトを組んで対応

効 果
現場の 業務負担が軽減 し、お客様へのサービスに注力
誰でも対応できる業務 へ
・業務手順の可視化・再整理
・業務の効率化・システム化

2. ワークショップ 『GW ハイウェイオアシス館、7月砂高祭に PR ブースにて出展』

このプロジェクトの象徴として『砂川に住む30代独身女性看護師の部屋』をイメージしたPRブースを制作し、2月に行われた千葉幕張、東京代々木の展示会に出展しました。

ワークショップでは、5月のゴールデンウィークのハイウェイオアシス館、7月の砂川高校学校祭にプロジェクトとして出展すること想定し、地域外に出す商品とサービスを考えました。



2月展示会に出展した PR ブース

3. 成果報告会 事務局からの成果報告はこちら ↓

<https://www.city.sunagawa.hokkaido.jp/sangyou/shoukou/files/hurikaeri-jigyoukeikaku.pdf>

山本 聖 総合コーディネーターからのコメント

- ・バイヤーが欲しいものは『商品』ではなく『企画』である。今の時代、『商品』はどれも似かよっており、あまり差がない。「この売り場ごと欲しい」とバイヤーに言わせることができれば勝ち。
- ・皆さんが当たり前と想着いても、域外の人にとってはすごく価値があるモノ・コト等、拾いきれていない資源がまだまだある。それに光を当てるのが私たち外部講師の役割でもある。私たちもこのプロジェクトの当事者として皆さんと一緒にこの事業を進めていきたい。
- ・この間、帯広の事業者が視察に来たり、札幌のバイヤーが仕入れの商談に来たりと、**このプロジェクトへの注目度が上がってきている。一つずつ形にしていきたい。**
- ・プロジェクトメンバーが展示会用に制作したPRブースは、この1年間の取組みの結晶。ただし、モノがない。プロジェクトメンバーを増やすことでモノを充実させていくことと、このPRブースを百貨店やスーパー、空港、東急ハンズ等生活雑貨店など売り場や季節ごとに対応できるものとし、どんどんPRしていきたい。

4. 事業所視察訪問 ※セミナーの翌日には、講師が事業者や施設等を訪問しています。



▲ 砂川高校にて次年度事業の説明



▲ 冬のオアシスパークを見学

